

茎数急増中！中干し徹底！

出穂期は早まる見込み。極早生・早生品種は適期に穂肥施用

- 生育過剰による品質低下が懸念されます。中干しを徹底しましょう。
- 出穂期は平年に比べ、2日程度早まる見込みです(概ね前年並)。
- 極早生・早生品種は、遅れずに1回目の穂肥を施用しましょう。

1 コシヒカリ生育概況(6月18日調査)【稲姿】草丈:長、茎数:多

草丈…	38	cm	(指標比	120	%、	長い)
茎数…	502	本/m ²	(同上	156	%、	多い)
葉色…	39.2	(葉緑素計)	(指標差 +	2.2	、	濃い)
葉数…	9.1	葉	(同上 +	1.1	葉、	早い)

○稲姿は大型で、生育は進んでいます。

○茎数が多く、過剰生育が懸念されるため、中干しを徹底しましょう。

2 気象予報(新潟地方気象台・6月18日発表)

○向こう1か月の気温はほぼ平年並ですが、期間の後半は暖かい空気に覆われやすいため、平年並か高いでしょう。平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

※こまめに水分補給し、熱中症に気を付けましょう。

3 当面の対策

(1) 中干し程度

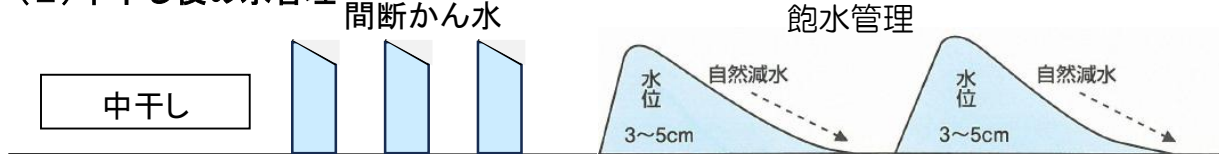
中干しの強さは小ヒビが入る程度とし、出穂1か月前までを目安に終了しましょう。



切った溝のタテ溝とヨコ溝の連結、水口と水尻とのつながりを確認しましょう。



(2) 中干し後の水管理



中干し終了後は、間断かん水から徐々に飽水管理に移行し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

足跡に水がたまっている状態になったらかん水する。



(3) 斑点米カメムシ類対策

◎草刈り重点推進期間です。

特にイネ科雑草が繁茂しないよう、畦畔・農道の計画的な草刈りを実施しましょう。

4 予想出穂期と穂肥施用

出穂期は平年より2日程度早まる見込みです。極早生・早生品種は間もなく幼穂形成期を迎えるので、幼穂を確認し、適期に1回目穂肥を施用しましょう。

(1) 出穂期予想

表1 品種別出穂期と穂肥時期の目安(分施肥体系)

品種名	予想出穂期	穂肥時期	
		1回目	2回目
なつひめ	7/15	6/20 ~ 6/22	7/1
ゆきん子舞	7/21	6/26 ~ 6/28	7/7
つきあかり	7/21	6/26 ~ 6/28	7/7
こしいぶき	7/24	7/1	7/10
コシヒカリ	8/2	7/15 ~ 7/18	7/23
新之助	8/10	7/20 ~ 7/23	7/29 ~ 7/31
五百万石	7/20	6/30	7/8
わたぼうし	7/21	6/29 ~ 7/1	7/9 ~ 7/11
こがねもち	7/28	7/10 ~ 7/13	7/18

※コシヒカリと、こがねもちは5月10日頃移植、その他品種は連休移植で予想したものです。

※出穂期は、地域やほ場、田植え時期、生育期間の気象等により異なるとともに、今後の気象等により変動します。今後の生育速報等を注視してください。

※生育診断を必ず行い、穂肥時期と施肥量を決定すること。

※表1に記載した穂肥時期(出穂期前日数)は、化成肥料の使用を前提とした時期です。有機質肥料や有機質入り肥料の場合は、これより数日早めに施用します。

【出穂前日数の推定方法】

カッターなどで割る



※ 幼穂は、平均的な株の主程から採取し、最低3本以上測定する。

※ 株は、水口・水尻付近を避け、畦畔から1m以上入って採取する。

表2 出穂前日数と幼穂長

出穂前日数	30日	24日	20日	18日	12日	10日	8日
幼穂長(mm)	0.2	1	2~4	5~10	40~60	80~110	170

(2) 穂肥時期と施肥量のめやす

表3 品種別穂肥時期と施肥量のめやす(分施肥体系)

品種名	穂肥窒素量(kg/10a)		穂肥時期(出穂期前日数)		ポイント
	1回目	2回目	1回目	2回目	
なつひめ	2	1~2	25~23	14	出穂期までSPAD値40維持
ゆきん子舞	3~4	2~3	25~23	14	
つきあかり	3~4	2~3	25~23	14	
こしいぶき	1~1.5	1~1.5	23	14	
コシヒカリ	1~1.5	1~1.5	18~15	10	生育診断を行い施肥時期や施肥量を判断する。
新之助	0.5~1.5	0.5~1.5	21~18	12~10	
五百万石	1回目、2回目合計で1~2		20	12	1回目を重視する。
わたぼうし	1~1.5	1~1.5	22~20	12~10	
こがねもち	1~1.5	1~1.5	18~15	10	生育過剰な場合は1回施用とする。

※表3に記載した穂肥時期(出穂期前日数)は、化成肥料の使用を前提とした時期です。

有機質肥料や有機質入り肥料の場合は、これより数日早めに施用します。

高温が予想されているので、分施肥では3回目の穂肥、全量基肥では追肥の準備をしましょう。

【次回は6月30日に水稻生育速報No. 4を発行予定】